

中農風景46

第60回 卒業式を挙行

令和7年3月掲載

第60回卒業式が3月1日(土)に執り行われました。式は、卒業生177名と保護者約260名、2年生参列のもと厳粛な雰囲気で進みました。

私の式辞は次の通りです。『卒業生の皆さんに問います。この中農で次の3つの能力を身に付けられたでしょうか。

まず、「何のために」「誰のために」と目的を理解した上で、自ら目標を設定し、達成するための計画や企画、そして実践してゆく能力。次に他者と接し、コミュニケーションをとりながら多様な考え方につれるだけでなく、その考えを受け入れ自ら判断する。また、身近に起る問題や社会での時流を捉え課題を発見し、協働して解決に向かって取組む能力。最後に、根拠やエビデンスに則って、客観性をもった結論を導き出すために必要なデータを収集・整理して考察・結論に到るまでの論理的な思考能力。

これらが課題解決力と言われるもので、今後生きていく中で必要とされる能力であります。この能力を身に付けるためにカリキュラムがあり、学校農業クラブ活動の存在意義があるのです。

ところが、これらの能力は農業教育だけでなく ものづくりをする工業教育にも共通しています。その違いは何でしょう。

皆さんのが学んできた農業では、生き物を扱う点が工業教育と異なっています。生き物は感情を持ち、個体差があり、多様性をもつたものであり、扱いが難しい。また、天候や自然災害、感染症などの環境による影響をたいへん受け易いことが挙げられます。ですから農業は不条理を受け入れながら、前を見て進んでいく意識が非常に重要になるのです。課題解決力の習得と併せて このことを体感された卒業生の皆さんには、卒業にふさわしい人物に育ち、この日を迎えました。立派に成長されたことを校長として嬉しく思います。』

なかなか見られない壇上からの風景



フラワーデザイン部と草花専攻生による飾花